

平成30年度総合防災訓練を実施しました

1 訓練の実施結果概要

実施日 平成30年9月2日(日)

訓練	実施場所	参加状況
総合防災訓練 (主会場)	相模総合補給廠一部返還地 (中央区内)	100機関 2,000人
総合防災訓練 (地域会場)	旭小学校 (緑区：橋本地区)	7機関 220人
総合防災訓練 (地域会場)	磯野台体育施設 (南区：相武台地区)	7機関 120人
合計		114機関 2,340人

中央区地域会場は10月21日(日)に実施します。

2 訓練終了時の加山市長講評(要旨)

本日は、市民の皆様、消防団、自衛隊、在日米陸軍、米海軍、神奈川県警察、九都県市、医療機関、ライフライン事業者などの多くの関係機関の皆様に訓練へご参加いただき感謝申し上げます。

本日の総合防災訓練は「本市直下を震源域とする大規模な地震」の発生を想定し、本年6月に発生した大阪府北部を震源とする地震の被害を踏まえ、迅速かつ円滑な災害応急対策の実施などを目的として各種訓練を実施しました。

本年7月の西日本各地での豪雨をはじめ、近年、各地で局地的な大雨等による土砂災害や浸水被害が相次いで発生しており、これらの被害を防ぐためには、正確な情報の収集と早めの避難行動をとることが重要です。本市におきましても、風水害における一時的な避難場所の受入れ体制を整備し、災害に立ち向かいたいと考えています。

今後とも、家庭や地域、職場での自分自身の役割などを改めて、ご確認いただき「災害に強いまちづくり」を推進するため、より一層のご協力をお願い申し上げます。